

【教育長賞】忘れられない思い出

安城中部小学校

杉浦 こと

みなさんは給食が好きでしょうか。忘れられない給食メニュー、みんなで食べた給食などたくさん思い出はありますか。私にはたくさんさんの給食の思い出がありますが、その中でも特に残った思い出をしようかいたします。

それは、給食当番の思い出です。私のクラスでは、給食の準備がおそく、十二分もかかっていました。そこで考えたのはタイマー方式です。タイマーを最初は十一分くらいに設定して制限時間内に準備を終われたら、少しずつ時間を短くしていくというものです。そのタイマー方式を取り入れたおかげで、少しずつ準備が早くなっていき、私が当番をやるころにはもう八分で準備できるようになっていました。けれど、八分のかべは高く、なかなかクリアできません。

四時間目終了のチャイムが鳴りました。私はタイマーを七分三十秒にセットしながら、リレーで走る順番が近づいてくるようなきん張感を感じました。「よいい、スタート！」

いそいで手洗い場までスタートダッシュします。大いそぎで、でもいいねいに手を洗ってほとんど走りながら手をふきます。教室に入ってバトンを受けとるように、フックから給食袋を受けとり、気分はまるでリレーの選手。大いそぎで白衣を着て、大いそぎでマスクをつけて、大いそぎでろう下へ出ます。そして、先生のチェックを受けて、さあ、いよいよ

盛り付けです。全員がだいたい同じ量になるように、しん重にいいねいに盛り付けます。が、どうしてもタイマーを気にしてしまいます。ふと、給食を作っている人もこんなふうにな、しん重に盛り付けたり、時間を気にしてあせったりすることがあるんだろうかと思いました。そう思うとなんだか遠くに感じていた調理員さんを身近に感じることもできました。

そして、盛り付けが終了です。タイマーを見ると、残り三十秒！あわてて白衣をぬいで、席につき、

「ピピピピピピピピッ」

タイマーが鳴りました。そう、なんと七分三十秒でぎりぎり準備が終われたのです！私は心の中で大きなガッツポーズをして、今にも走り出して、おどり出してしまいたいそうでした。

給食センターの人は、私においしい給食、みんなと食べる楽しい給食、そして、給食当番の思い出をくれました。だから、私はからっぽになった食かんやバットで恩返しをしたいと思いました。